

令和8年度 社会福祉協議会活動全国会議 開催要項

1. 趣 旨

2040年を見据え、85歳以上人口や単身世帯の増加、人口の減少など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、またその変化は地域によって大きく異なる状況となっています。地域生活課題は複雑・多様化するとともに、福祉・介護人材の不足や社会資源の偏在などにより、地域の持続可能性や地域福祉を支える基盤そのものが問われる時代を迎えています。

このようななか、地域福祉の推進を目的とする組織である社会福祉協議会には、住民や行政、社会福祉法人、NPO等の地域の関係者と連携・協働しながら、地域の実情に応じた包括的な支援体制の構築や権利擁護の推進、災害時を含めた地域福祉の基盤づくりなど、多様な役割を果たしていくことが期待されています。

本会議では、これからの地域福祉の推進に向けた社協の役割を改めて考え、各地域で実践につなげる機会とします。

2. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
3. 後 援 厚生労働省（予定）
4. 運 営 全国社会福祉協議会・地域福祉推進委員会
5. 日 時 令和8年9月8日（火）～9日（水）
6. 定 員 200人
7. 申込締切 令和8年8月21日（金） ※定員になり次第締切
8. 会 場 全社協・灘尾ホール、5階会議室（東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル）
9. 参加対象 社会福祉協議会役職員、地域福祉関係者
10. 参加費 10,000円（情報交換会参加者は別途1,000円）

11. 日 程

		12:30	13:30	14:00		17:30	18:45
1日目 (9/8)		受付	挨拶	シンポジウム			情報交換会
2日目 (9/9)	分科会						
		9:30	12:00				

12. プログラム

9月8日(火)

13:30～13:50【開会・挨拶】

全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一
全社協・地域福祉推進委員会 委員長 越智 和子 氏
(香川県・琴平町社会福祉協議会 会長)

14:00～17:30【シンポジウム】

「地域の実情に応じた社会福祉協議会の役割発揮について考える」

シンポジスト(社協名)：

今野 良一 氏 (山形県・鶴岡市社会福祉協議会 生活支援課長)
中嶋 素道 氏 (長野県・王滝村社会福祉協議会 事務局長)
櫻井 洋観 氏 (長崎県・西海市社会福祉協議会 事務局長)

コーディネーター：

室田 信一 氏

(東京都立大学人文社会学部 人間社会学科 教授)

地域生活課題が複雑・多様化するなか、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である社協には、住民の地域生活を維持するために、地域の実情に応じた多様な役割を果たすことがこれまで以上に求められています。

一方で、地域を取り巻く状況や社会資源、社協の活動・事業、組織体制は地域ごとに大きく異なります。そのため、それぞれの地域の特性やニーズを踏まえ、多様な主体と連携・協働しながら、地域に必要な支援やサービス提供体制を構築・維持していくことが重要です。

本シンポジウムでは、地域特性や地域生活課題を踏まえた実践をもとに、多機関との連携によるサービス提供体制のあり方や、変化する地域社会のなかで社協が果たすべき役割について考えます。

9月9日(水)

9:30~12:00【分科会】

分科会1 地域における包括的な支援体制を考える

コーディネーター:

金田 喜弘 氏 (佛教大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授)

実践報告者:

齋藤 竜也 氏 (山形県・山形市社会福祉協議会

相談支援課 福祉まるごとサポート係 主幹兼係長)

北井 孝文 氏 (栃木県・市貝町社会福祉協議会 事務局次長)

社会福祉法の改正では、人口構造の急速な変化等に対応するため、2040年に向けて、地域の実情に応じて包括的な支援体制を拡充することが示されました。社協は基本要項2025を抛り所にしながら、地域ごとの課題に即した地域福祉活動や各種事業を強化していくことが求められます。

本分科会では、地域の生活課題を把握し、その解決のためにどのような支援が必要かを振り返り、各地域で今後必要な包括的な支援について考えます。

分科会2 社協におけるこれからの権利擁護支援の実践を考える

コーディネーター:

福島 喜代子 氏 (ルーテル学院大学 教授)

パネリスト(社協名):

矢澤 秀樹 氏 (長野県・伊那市社会福祉協議会 事務局次長)

吉田 時成 氏 (福岡県・福岡市社会福祉協議会 地域福祉部長)

十河 真子 氏 (香川県社会福祉協議会 相談支援課長)

令和8年6月の国会審議を経て、民法並びに社会福祉法が改正されることとなり、「頼れる身寄りがいない高齢者等判断能力が不十分な者を対象とする第二種社会福祉事業」が新設されます。今後は、頼れる身寄りがいない高齢者等の支援だけでなく、成年後見制度の利用終了した人への支援についても、地域でどのように取り組んでいくことができるのか、各種相談支援機関も含めた総合的な権利擁護支援体制の構築に向けた協議が自治体単位を基本に一層進んでいくことになります。

本分科会では、地域の権利擁護支援の一役を担う社会福祉協議会が、体制構築に向けてどのような役割を担っていくことが考えられるのか、頼れる身寄りがいない高齢者等の支援を実施している社協の実践や、次期成年後見制度利用促進計画に向けた議論を参考にしながら、ディスカッションを行います。

分科会 3 法改正とこれからの社協における災害支援について

シンポジスト（社協名）：

千明 長三 氏（群馬県・片品村社会福祉協議会 係長）

山北 翔大 氏（熊本県・八代市社会福祉協議会 地域福祉係 主事）

山崎 博之 氏（長野県社会福祉協議会

まちづくりボランティアセンター 企画員）

コーディネーター：

由利 侑耶 （全国社会福祉協議会 地域福祉部 参事）


社会福祉法改正により、福祉と防災の連携が法定化され、「要配慮者の避難支援」と「平時からの地域づくり」を一体的に進める仕組みへと大きく転換しています。

災害関連死を防ぎ、被災後の住民の暮らしを守るため、社協は平時からどう動くべきか。その視点に立ち、これからの社協に求められる災害支援について考えます。

13. 申込方法等

(1) 参加のお申し込みについて

下記申込サイトよりお申し込みください。

申込サイト	URL: https://www.mwt-mice.com/events/zenkoku260908	
	※申込締切:令和8年8月21日(金)17時	

- ◆ 本会議につきましては、「名鉄観光サービス(株)MICE センター」に、参加申込・参加費の收受代行の業務を委託しておりますのでご了承ください。
- ◆ 1 社協から複数名申込する場合は、①1 名ずつ申込サイトよりお申込みいただく、または、②申込担当者（連絡担当者）がまとめて申込サイトより会議参加者全員をご登録いただく、のいずれかの方法でお願いします（会議に参加される方全員が「会議参加者」として登録されるようにしてください）。別々にお申込される際は同じアドレスで複数ご登録いただくことはできませんので、それぞれ別のアドレスでご登録ください。
- ◆ 登録完了後に、「名鉄観光サービス(株)MICE センター」より申込完了メールが届きます。
※申込完了メールが届かない場合は、名鉄観光サービス(株)MICE センターまでご連絡ください。

(2) 参加費等について

- ◆ 申込サイトからログインいただき、マイページの「お支払い」タブより「請求書」をダウンロードのうえ、記載の期日までにお振込みをお願いします。
- ◆ 入金確認後、開催1週間前を目途に「参加券」のダウンロード方法をメールにてご案内いたします。ご自身で参加券を印刷していただき、当日会場受付にご持参ください。参加券と引き換えに、資料をお渡しいたします。
- ◆ 参加費入金後のご返金はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

14. 個人情報の取り扱いについて

- ◆ 本会議につきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株) MICEセンター」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。
- ◆ 「参加申込書」に記載された個人情報は、本会議資料に氏名・所属・役職を掲載した名簿を収載する他、本会議の運営管理の目的にのみ利用いたします。

15. 必要な配慮について

手話通訳等、参加時に配慮が必要な場合は、事前に事務局までお知らせください。

16. お問い合わせ先

○会議について

全国社会福祉協議会 地域福祉部（竹内、森山）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858 E-mail : z-chiiki@shakyo.or.jp

○参加お申込みについて

名鉄観光サービス株式会社 MICEセンター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

受付時間：平日 10:00～17:00（土日祝日は休業）

※申込サイト「お問い合わせ」フォーム

(<https://www.mwt-mice.com/events/zenkoku260908/deliver>) よりご連絡ください。

◆会場のご案内◆

会場：全社協・灘尾ホール（新霞が関ビル LB 階）、5 階会議室



◆地下鉄銀座線「虎ノ門駅」 11番出口より徒歩5分

◆地下鉄千代田線/丸の内線/日比谷線「霞ヶ関駅」 A13番出口より徒歩8分

◆地下鉄千代田線/丸の内線「国会議事堂前駅」 3番出口より徒歩5分